

かほだより



25-6 号
H26. 1. 15

長野県伊那家畜保健衛生所
TEL:0265-72-2782, 090-5444-0970
Fax:0265-72-2765
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp
住所: 伊那市西町 5764
伊那諏訪家畜産物衛生指導協会
TEL&FAX: 0265-76-8086

農林水産省から 畜産物生産における動物用抗菌性物質製剤の慎重使用に関する基本的な考え方が示されました

動物用
医薬品

薬剤耐性菌のリスクを低減していくため 抗菌剤は慎重に使用しましょう

飼料
添加物

抗菌剤は家畜の健康を守り、安全な畜産物を安定的に生産するための重要な資材ですが、その使用には下記のようなリスクも常に存在します。

- ・有効な抗菌剤を選択しなかったり、ひとつの抗菌剤を長期間使用したりすると、薬剤耐性菌が生き残って増えることがあり、抗菌剤の効きが悪くなることがあります。
- ・薬剤耐性菌が食品などを介して人に感染した場合、人の病気の治療に使う抗菌剤が十分に効かなくなる可能性があります。

そのため、生産者・獣医師・動物用医薬品業者ほか畜産物生産における抗菌剤使用に関わる方々が、それぞれ責任をもち慎重な使用を進めていくことが重要です。

「慎重使用」

抗菌剤を使用すべきかどうかを十分検討した上で、抗菌剤の適正使用により最大限の効果を上げ、薬剤耐性菌の生存・増殖を最小限に抑えるように使用すること

- 飼養環境を整え、家畜の健康を維持し、ワクチンを使って感染症の発生を予防しましょう。疾病の発生予防は、医薬品だけに頼るのではなく、飼養環境や給与飼料など経営全体から見直しを行いましょう
- 予防的使用など必要以上の医薬品を使っていないか見直しをしましょう
- 原因菌を特定し、適切な薬剤を使用をしましょう
- 治療で抗菌剤を使用する場合は、獣医師の指示に従いましょう
- 感染症や薬剤耐性菌の状況等に関する情報を関係者間で共有しましょう



《 定期報告のお願い 》

家畜・家きんを飼育している方には、毎年2月1日現在の飼養状況を報告していただいています。1月下旬に書類を送付いたしますので、FAX もしくは郵送にてご返送ください。ご協力お願いします。

《 飼養衛生管理基準を守り、引き続き防疫対策に万全を期していただくようお願いいたします 》